

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県瑞浪市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	瑞浪市伝統文化後継者育成事業			
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
5 実施計画の概要				
<p>平成26年3月に策定された瑞浪市教育振興基本計画「みずなみ教育プラン」（抜粋部分添付）を踏まえて、市内に残る伝統芸能・伝統文化を後世に伝えるため、市内の伝統文化の後継者育成事業と伝統文化の継承に必要な用具類の修理事業を実施する。</p> <p>(1) 後継者養成事業 伝統文化の後継者育成事業（平成23年度より実施、今回計画は平成29年度～平成33年度） 瑞浪市伝統文化後継者育成事業実行委員会加盟団体により、市内各地域において伝統文化の後継者育成事業を展開。</p> <p>(2) 用具等整備事業 伝統文化継承のための用具類修理事業平成23年度より実施、今回計画は平成29年度～平成33年度） 瑞浪市伝統文化後継者育成事業実行委員会加盟の大湫町神明白山神社例祭保存会により、大湫神明白山神社例祭に使用する山車（平成27年度に第1次修理、29年度に第2次修理申請中、30年度にて完了予定）と神輿（平成28年度実施）の経年劣化が進んでいるため修理を実施する。また、伝統行事の開催・継承のためには、用いられる道具の修理や劣化した道具等の新調が必要であるため、各傘下団体の用具類の修理や新調等を実施する。市指定民俗文化財（有形）「のぞきからくりの看板絵と中ネタ」の修復が計画段階にあるが、現存していない屋台部分の修復方法に課題がある。保存会を設立し、国内で唯一現存する新潟市巻町ののぞきからくりと同様に、口上師を養成し上演が実施できるよう計画にある。今後、別の用具等整備事業が必要となった場合には実施計画を変更する。</p>				
<p>本事業は、瑞浪市が全体計画の調整、事業の指導助言を行い、地域の伝統文化保存団体が各事業を実施する。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会スポーツ文化課</li> </ul> <p>実行委員会の総括事務局として全体計画の調整、事業への助言、事業の取りまとめ等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞浪市伝統文化後継者育成事業実行委員会（会長：小栗栄輝）</li> </ul> <p>各地域において伝統文化の後継者育成、用具の修繕を行う。なお、構成団体は以下のとおり。</p> <p>① 瑞浪市歌舞伎伝承事業実行委員会、②大川お囃子保存実行委員会、③水上お囃子保存実行委員会、④猿爪区御囃子保存会実行委員会、⑤大湫町神明白山神社例祭保存会</p>				
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額：	9,844 千円	平成29年度申請額： 6,475 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり		
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）				
<p>本事業を通じ、市内に残る伝統文化に対する理解や意識が向上し、伝統文化として残っていた文化遺産の後世への継承が期待できる。また、各保存会による有形及び無形の文化遺産の保存・継承は、今後、各地域で起こるであろう地区住民数の減少による地域の沈滞化に歯止めをかける事に期待するとともに活性化への希望ももてる。さらに、文化遺産の年中行事としての公開は、観光交流人口増（市観光計画は未策定）に繋がり、地域活性化に期待がもてる。</p>				
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）				
事業概要：	なし			
事業概要：	なし			
事業概要：	なし			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等				
<p>現在は策定の計画はないが、今後、平成17年度より継続している瑞浪市土岐町にある櫻堂薬師の総合調査が終了した際には、構想策定を検討したい。</p>				
12 担当部局				
地方公共団体 担当部局課	瑞浪市教育委員会スポーツ文化課			

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	美濃歌舞伎の定期公演時の観覧者数			関連事業:	伝統文化の後継者育成事業	
目標値 1 :	平成 28 年度	500 人	⇒	平成 33 年度	700 人	
設定根拠 1 :	平成28年度の観覧者数を基とし、地歌舞伎への関心度から推定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	瑞浪市は、誇りの持てる、魅力あるまちなみだと思いますか (市民アンケート)			関連事業:	後継者育成事業, 用具等整備事業	
目標値 2 :	平成 28 年度	45 %	⇒	平成 33 年度	46 %	
設定根拠 2 :	平成28年度の市民アンケート結果から、過去2年間のデータを基に推定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	参加保存会の新規保存会会員数			関連事業:	伝統文化の後継者育成事業	
目標値 3 :	平成 27 年度	82 人	⇒	平成 33 年度	120 人	
設定根拠 3 :	平成27年度の新規保存会会員数を基準として推定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	あなたは、日頃から文化・芸術や郷土の歴史や文化に親しんでいますか (市民アンケート)			関連事業:	後継者育成事業, 用具等整備事業	
目標値 4 :	平成 28 年度	29 %	⇒	平成 33 年度	30 %	
設定根拠 4 :	平成28年度の市民アンケート結果から、過去2年間のデータを基に推定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	



事業④：	伝統文化の後継者育成事業	実施団体：	猿爪区御囃子保存実行委員会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 33 年度	
事業概要：	陶町猿爪地区の天神社に伝わる御囃子の保存会会員に対する後継者育成事業を実施する。10月の天神社大祭や文化祭等で体得した技術を公開する。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	猿爪区御囃子保存会の会員数					
目標値：	平成 29 年度	23 人	⇒	平成 33 年度	28 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑤：	伝統文化継承のための用具類修理事業	実施団体：	大湫町神明白山神社例祭保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	大湫神明白山神社例祭に使用する山車の経年劣化が進んでおり、例祭において使用する際に危険を伴うこと等から、輪掛等の修理を実施する。有識者による検討会を開催した後、10月の例祭以降に修理開始、解体現場を一般公開、3月までに修理を完了する。30年度に修理完了を見込む。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	神明白山神社例祭への参加住民数					
目標値：	平成 29 年度	50 人	⇒	平成 30 年度	80 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑥：	伝統文化継承のための用具類修理事業	実施団体：	瑞浪市歌舞伎伝承事業実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 33 年度	
事業概要：	瑞浪市民俗文化財（無形）の地歌舞伎（美濃歌舞伎）保存会会員に対する後継者育成事業を実施するにあたり、本事業に不可欠な三味線の張り替え（2基）を行うとともに、撥（5本）、駒（4本）、化粧用羽二重（3種10本）を新調する、それらは、9月と3月の成果発表時に使用し公開する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	歌舞伎伝承事業の総観覧者数（年2回の計）					
目標値：	平成 29 年度	500 人	⇒	平成 33 年度	700 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

